

WindowsXP ServicePack2 セキュリティ強化機能搭載における Windows ファイアウォール設定変更の手順について

1 . はじめに

本手順書では、弊社が販売しております PriWAVE STAGE シリーズの製品のうち、下記の対象となる各ソフトウェア製品が、すでに WindowsXP 環境でインストールされており、これから ServicePack2 セキュリティ強化機能搭載(以下 SP2)をインストールを行う、もしくは、WindowsXP に SP2 がインストールされており、これから下記の対象となる各ソフトウェア製品をインストールするに該当する場合に、弊社製品が正常な動作を行うための設定変更手順を解説しております。

< 対象ソフトウェア製品 >

- ・ PRINT STAGE
- ・ PRINT STAGE Advanced Server
- ・ PRINT STAGE for MetaFrame
- ・ PRINT STAGE for School
- ・ FAX STAGE
- ・ FAX STAGE Receiver
- ・ LOGTORY

以上 7 製品

ご注意！ > 対象となるのは全てのバージョンですのでご注意ください。

2 . WindowsXP SP2 による製品への影響について

WindowsXP SP2 をインストールされますと、SP2 から強化されました Windows ファイアウォールのデフォルト設定により各種通信ポートがブロックされるようになります。よって、一般モジュールが通信ポートを開こうとすると、警告ダイアログが表示され、通信ポートを開く許可をユーザに求めます。

ただ、弊社製品では、サービスプロセスとして各モジュールは実行されるため、警告ダイアログが表示されませんので、予め各モジュールに通信ポートを開く許可を与えておく必要があります。

(設定をしませんと弊社の対象となる製品の一部の機能が正しく動作しません。)

3. 対応について

WindowsXP SP2 での環境にて弊社の対象となる製品が正常に動作を行うには下記の変更が必要です。

(1) Windows ファイアウォールの設定変更

以下の実行ファイルのファイアウォール設定を、許可するように設定を変更する必要があります。ただし、設定の変更は、**サーバ側のみ必要**となりますので、クライアント端末側での設定変更は必要ありません。

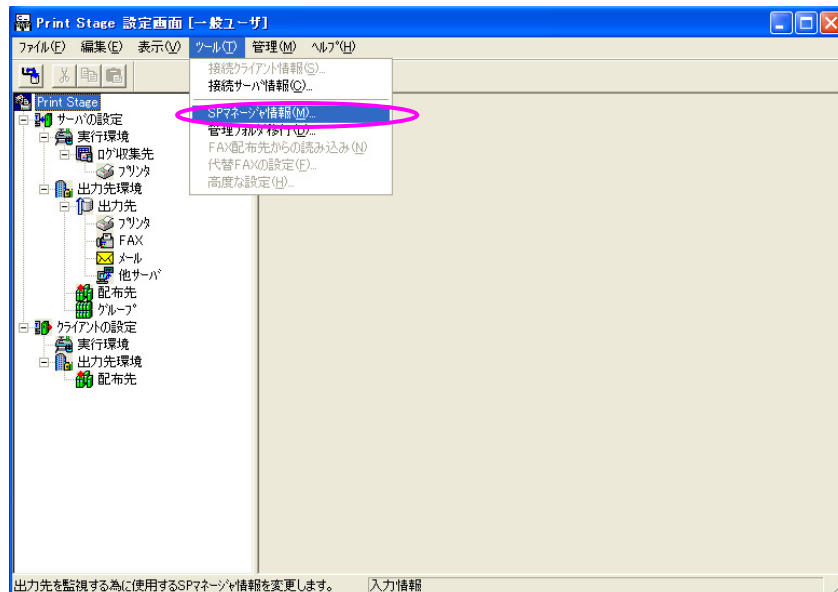
PRINT STAGE/FAX STAGE の設定で CASIO SNMP TRAP Service を選択し使用している場合

実行ファイル名	モジュール名	発行元	実行ファイル格納パス
Capsv.exe	PRiWAVE Server	カシオ計算機	[インストールしたディレクトリ] ¥Capcal¥Bin¥
CpnmCor.exe	CASIO Manager Core	カシオ計算機	[インストールしたディレクトリ] ¥Capcal¥Bin¥
NP_Wsx32.exe	CASIO SNMPTrapSV	ACE * COMM	[インストールしたディレクトリ] ¥Capcal¥Bin¥
Spm�NT.exe	CASIO Super Daemon	カシオ計算機	[インストールしたディレクトリ] ¥System¥
CapmgrSV.exe	ReportManager Server	カシオ計算機	[インストールしたディレクトリ] ¥Capcal¥Bin¥

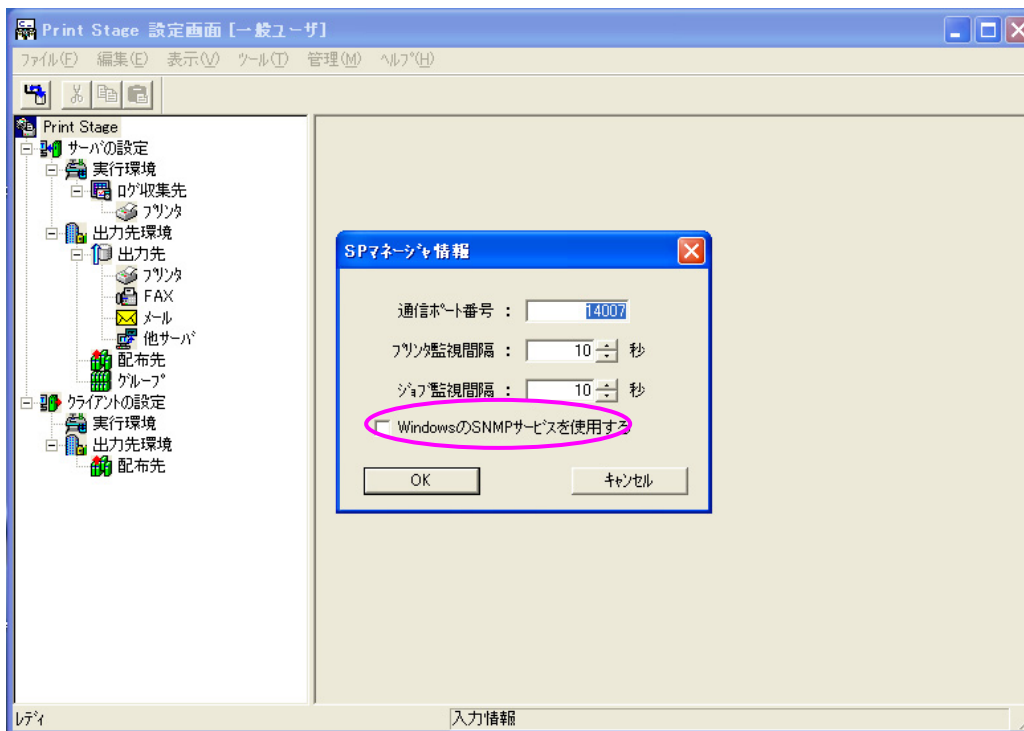
「NP_WSX32.EXE」は、カシオ計算機のオリジナル SNMP トラップサービスです。

< CASIO SNMP TRAP Service を使用しているか確認する方法について：例 PRINT STAGE の場合 >

- ・ 「PRINT STAGE 設定」画面のツールから「SP マネージャ情報」を選択します。



- ・「SP マネージャ情報」設定画面で“ Windows の SNMP サービスを使用する ”のチェックボックスにチェックが入っていなければ、CASIO SNMP TRAP Service を使用している事を確認できます。



なお FAX STAGE においても FAX STAGE 設定画面から同方法により確認可能です。

PRINT STAGE にて 上記 の設定をしていない場合、又は LOGTORY の場合

実行ファイル名	モジュール名	発行元	実行ファイル格納パス
Capsv.exe	PRIWAVE Server	カシオ計算機	[インストールしたディレクトリ] ¥Capcal¥Bin¥
CpnmCor.exe	CASIO Manager Core	カシオ計算機	[インストールしたディレクトリ] ¥Capcal¥Bin¥
Snmpttrap.exe	WindowsSNMPTrapSV	Microsoft	[OS ディレクトリ]:¥Windows¥System32¥
SpmndNT.exe	CASIO Super Daemon	カシオ計算機	[インストールしたディレクトリ] ¥System¥
CapmgrSV.exe	ReportManager Server	カシオ計算機	[インストールしたディレクトリ] ¥Capcal¥Bin¥

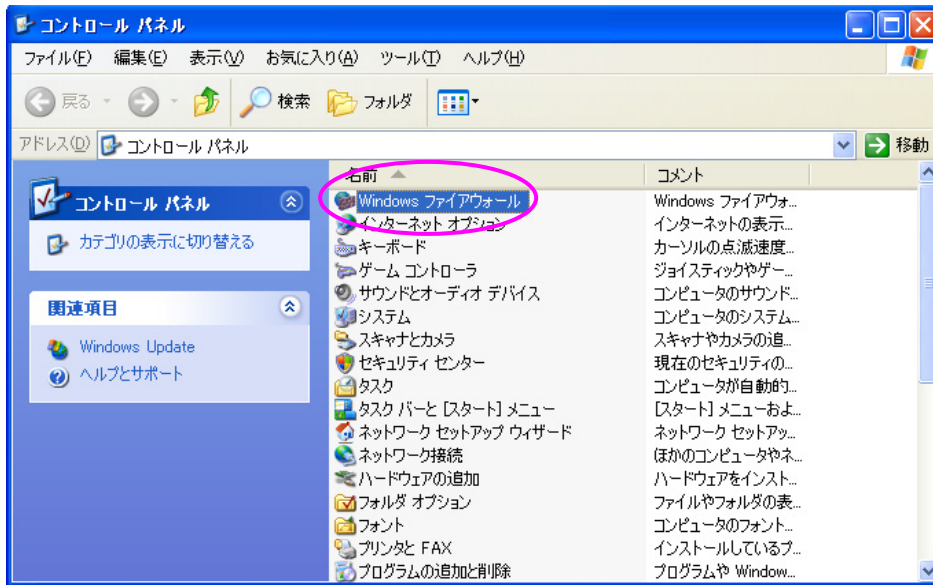
「SNMPTRAP.EXE」は、Microsoft 社の SNMP トラップサービスです。

注意 > 上記実行ファイルが指定の場所がない場合は、設定する必要はありません。

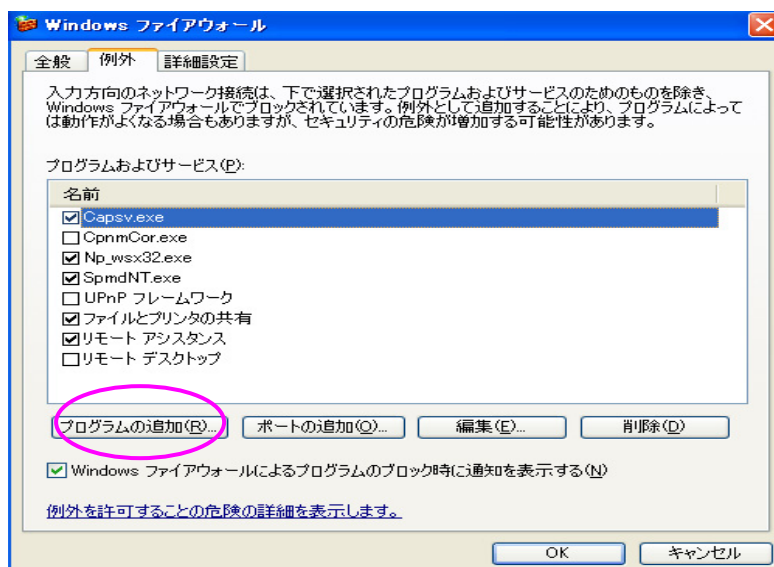
4. 設定変更の手順について

WindowsXP SP2 がインストールされており弊社の対象ソフトウェア製品がインストールされていることが前提です。

- (1) Windows の「スタート」「設定」「コントロールパネル」を開き、「Windows ファイアウォール」を選択します。

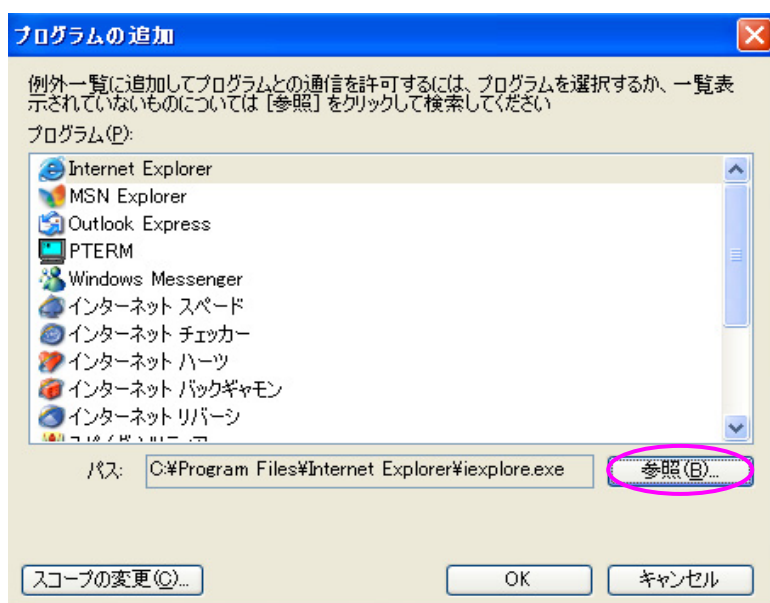


- (2) 「Windows ファイアウォール」の「例外」のタブを開き、「プログラムの追加(R)」をクリックします。



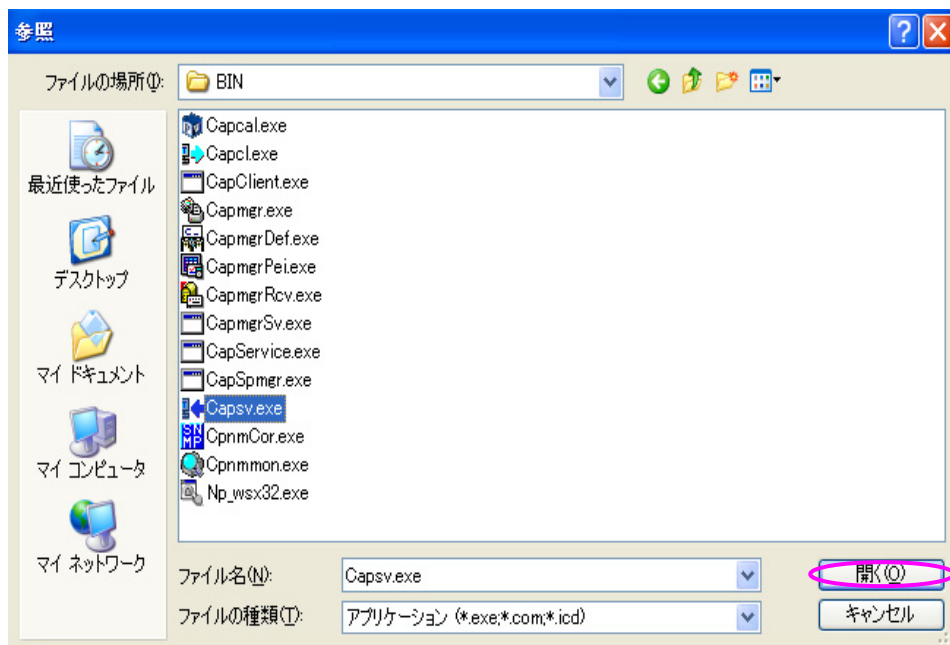
「プログラムの追加(R)」ボタンを押下。

- (3) プログラムの追加ダイアログから実行ファイルを選択するため、「参照」をクリックします。



「参照」ボタンを押下。

- (4) 追加する実行ファイル名を参照ダイアログで実際に指定して開くをクリックします。



- (5) プログラムの追加ダイアログの「OK」をクリックします。

(2)~(5)の手順を『3. 対応について』で該当する全ての実行ファイルに対し漏れなく行って頂く必要があります。

(6) Windows ファイアウォールの「例外」タブのプログラム及びサービスリストに対象となる
全ての実行ファイルが記載されていることを確認し、「OK」をクリックしてください。

以上で WindowsXP SP2 におけるすべての設定変更作業が完了となります。
正常にソフトウェア製品が動作することを確認して下さい。

2004年9月2日
カシオ計算機株式会社